

西暦 2022 年 3 月 7 日

山形大学医学部附属病院にて診療を受けている、受けたことのある方、ご家族の方、ご親戚等の方へ（研究に関する情報）

当院では、下記の研究を実施しております。この研究は、通常の診療または過去に実施した研究で得られた試料や情報（以下、「臨床情報」という。）を用いて行います。

この掲示によるお知らせの後、臨床情報の使用を許可しない旨の、ご連絡がない場合においては、研究へのご理解をいただいたものとして実施します。

なお、個人が特定できる情報は研究には利用しません。また、研究データ上にも残りませんので、研究の実施により、あなた、またはあなたのご家族・ご親族等の個人情報が流出することはないと考えております。

また、研究の成果を公表するときにおいても個人情報を提示することはありません。

皆様方におかれましては、研究の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、問い合わせ先まで、ご連絡ください。

①研究課題名	高カルシウム血症・高PTH関連タンパク血症を伴ったが、化学療法が奏効した膵がんの1例
②倫理審査委員会承認番号	〇〇〇〇〇〇 2022-21
③研究期間	2023年3月31日まで
④研究の目的	膵がんの患者さんでは、食道がんや子宮頸がんの方に比べてカルシウム値が高いということは少ないですが、それはPTH関連タンパクというものが、がん細胞により産生される確率が低いためです。膵がんの方でカルシウムやPTH関連タンパクの値が高いことはあまり多くは無いため、今後の診療の参考になる検討を行いたいと考えます。
⑤この研究の対象となる方	当院で化学療法を受けた膵がんの患者さんの中で、PTH関連タンパクという採血の値と、補正カルシウムという値が高かったものの、治療により改善した方
⑥研究の方法	採取した検査サンプルに免疫染色という染色を施す予定です。診療録の振り返りを行う予定です。
⑥利用する情報	採血データや診療録にある治療経過や検査結果など
⑦他機関への臨床情報の提供	本研究の実施にあたり、他の研究機関に臨床情報が送付さ

	れることはありません。
⑧臨床情報の管理責任者	管理責任者氏名：吉岡孝志
⑨臨床情報を利用する者	研究責任者氏名：吉岡孝志 主任研究者氏名：鈴木修平 分担研究者氏名：鈴木一司
⑩臨床情報の利用停止について	<p>いつでも、この研究にあなた自身の臨床情報を使用しないよう求めることができます。臨床情報の使用を認めなかったとしても、あなたに不利益が生じることはありません。申し出をされる場合は本人又は代理人の方より、下記の連絡先までお問い合わせください。</p> <p>ただし、使用停止を求めた時点で、研究結果が論文などで公開されていた場合には、完全に臨床情報の使用を停止できないことがあります。</p>
⑪問い合わせ先	<p>山形大学医学部附属病院 腫瘍内科 〒990-9585 山形県山形市飯田西 2-2-2 TEL：023-628-5224 担当者氏名：鈴木修平</p>

以上